

神戸市ネットモニターアンケート調査結果

テーマ	土砂災害への備えについて
調査期間	平成 29 年 2 月 1 日（水曜）～14 日（火曜）
設問数	13 問（分岐設問のぞく）
対象モニター数	2,815 名
回答モニター数	2,233 名（回答率 79.3%）

【調査結果概要】

神戸のまちは過去にいくつもの大きな土砂災害、洪水を経験し、それらを乗り越えてきました。昭和 42 年豪雨災害から今年で 50 年の節目を迎えますが、神戸市が経験した大きな水害の認知度は、市内居住年数が短くなるほど低くなるという相関関係にあることが本アンケートから明らかとなりました。神戸は土砂災害が発生した場合、甚大な被害が発生する恐れのある地形だということを、次世代へ引き継いでいく必要があります。

本アンケートでは、今後の効果的な防災啓発の取り組みを考えていく上での参考とさせていただくため、災害からの避難に関して日ごろからどのように備えておられるのかをお伺いしました。

まず、お住まいの地域が土砂災害警戒区域に含まれているかどうか「事前に確認している」または、「今後は（も）確認する」と回答いただいた方は 95%を超えていました。また、緊急避難場所の利用可能な災害種別を「事前に確認している」と回答いただいた方は約半数でした。これらのことから、平常時よりお住まいの地域の危険性や避難先をご確認いただくことの重要性を多くの方々に認識していただいていることが分かりました。

また、平成 28 年度は「防災意識の向上」を重点テーマとして、戦略的広報事業に位置付け、サンドアートの手法による啓発動画の配信や、風水害からの避難に関する説明会の開催、ポータルサイトによる備えに関する防災情報の発信等を行ってきました。

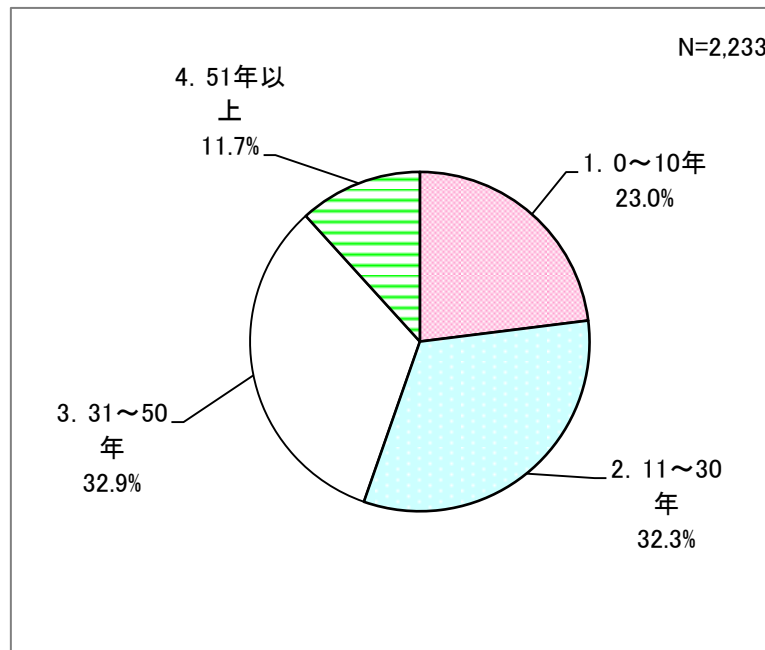
サンドアート動画を見た後、「何か行動を起こそうと思うか」という問いに対し、約 90%を超える方に、何らかの行動を起こそうと思うと回答いただきました。防災啓発という伝えにくいテーマではありましたが、多くの市民のみなさまに関心を持って視聴いただき、災害を自分ごととして捉えていただくことができました。

また、土砂災害からの避難に関する説明会については、約 85%の方に「参加してみたい」と回答いただきました。この結果をもとに、今後も市民のみなさまに参加してもらいやすく分かりやすい内容の説明会を開催できるよう努めてまいります。

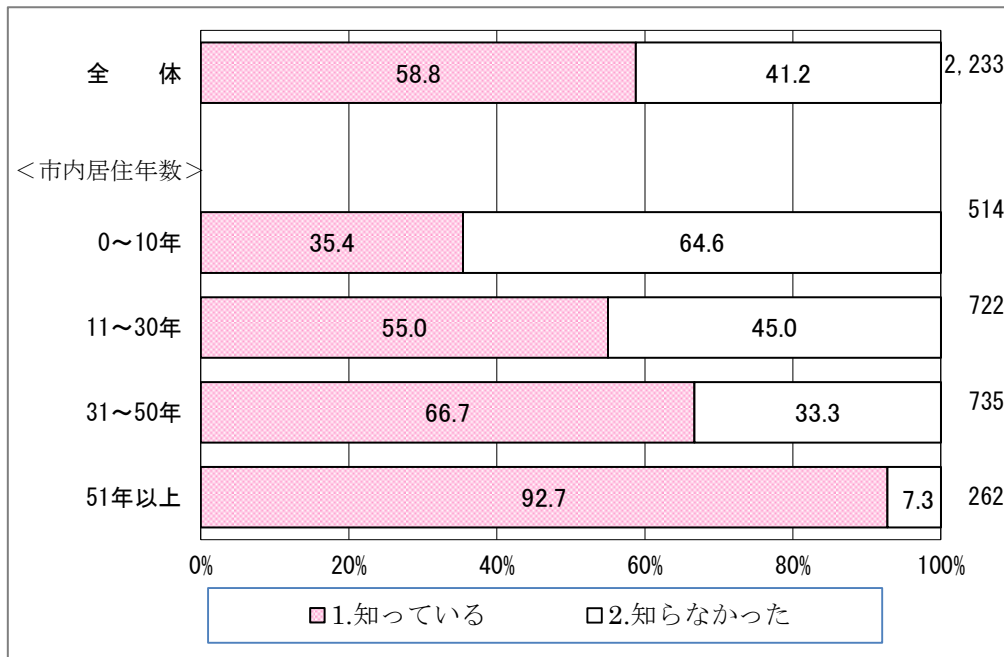
一方で、これらの取り組みに対する市民のみなさまの認知度は決して高くありませんでしたので、引き続き、より多くの方々に「災害への備え」について考えていただけるよう、さらに広報にも力を入れ、啓発活動に取り組んでまいります。

アンケートへのご協力、本当にありがとうございました。

問1 神戸市内の居住年数を教えてください。



問2 神戸市で過去に大きな水害（※1）が発生したことを知っていますか。



（※1）昭和の3大水害：昭和13年阪神大水害・昭和36年水害・昭和42年水害

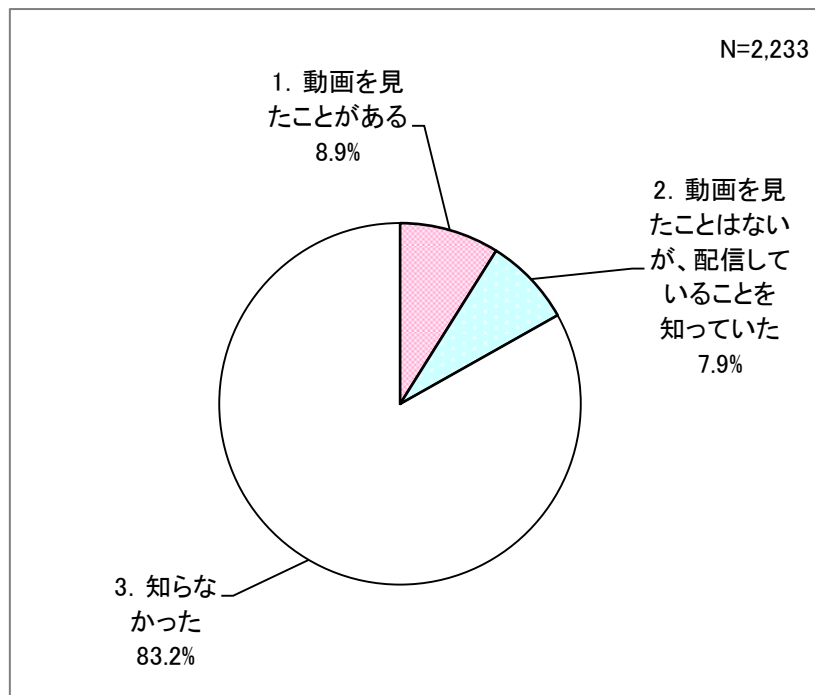
http://www.city.kobe.lg.jp/life/town/river/suigaisonaie/02kako_02.html

問3

今年度、神戸市では日頃から「災害からの避難」を意識していただくことを目的にサンドアートで動画を制作し、平成28年9月からインターネットや市内各所で配信してきました。



防災啓発動画「避難勧告！その時、どうする？」(※2)を知っていましたか。



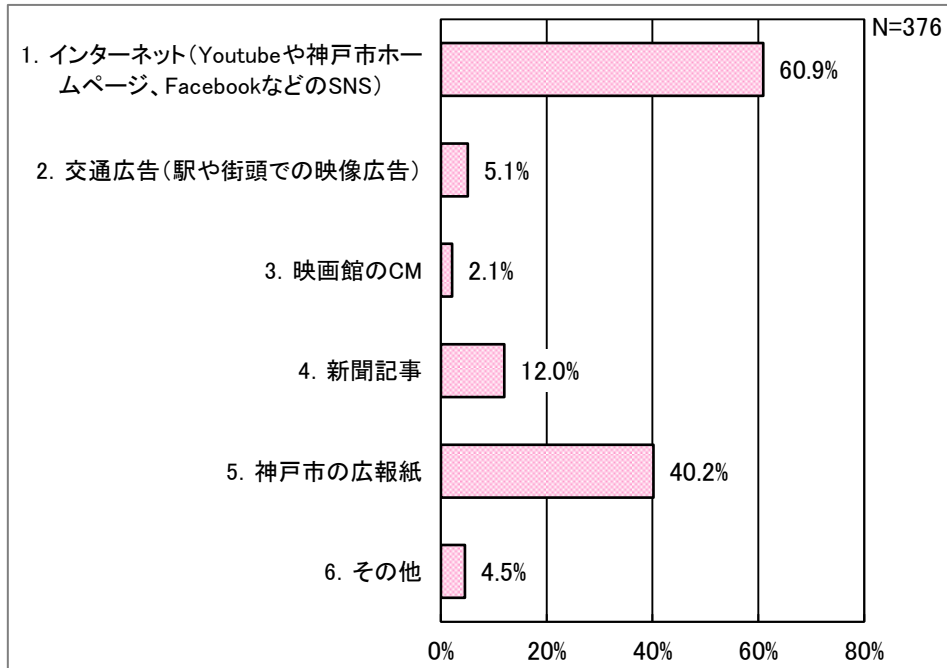
(※2) 避難勧告！その時、どうする？

15 秒版 <http://www.kobe-sonae.jp/news/2016/09/23181730.html>

3 分版 <http://www.kobe-sonae.jp/news/2016/09/23182855.html>

【防災啓発動画を知っていた方】

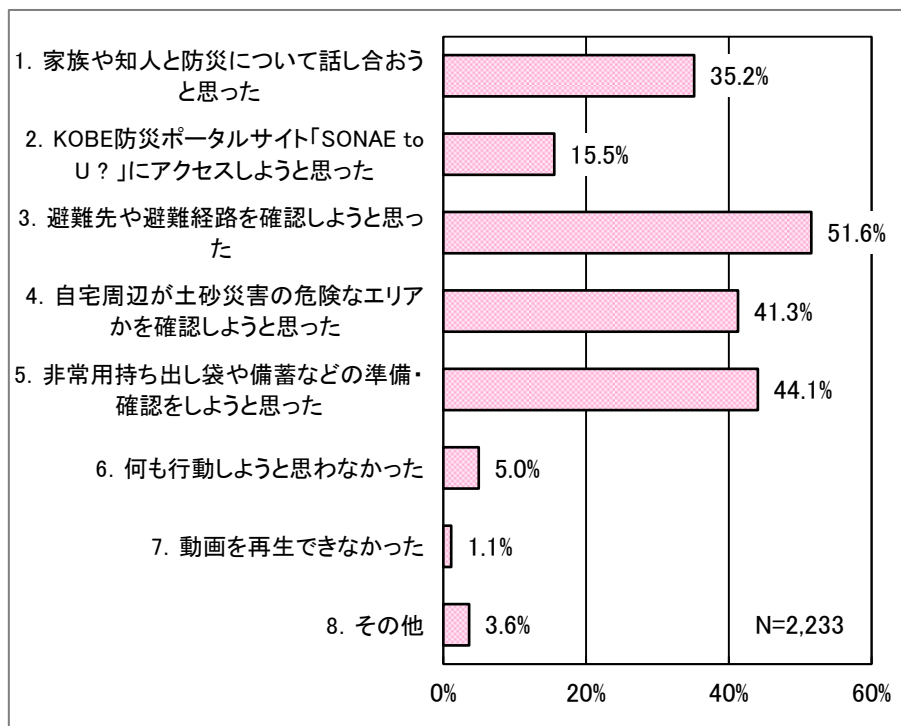
問3-1 防災啓発動画をどこで知りましたか。(複数回答可)



「6. その他」

- ・ facebook での知人からのシェア
- ・ 知人からの紹介 など

問4 防災啓発動画3分版を見たことがない方は、見てから回答してください。
 防災啓発動画を見て、何か行動を起こそうと思いましたか。(複数回答可)



「8. その他」

- ・避難勧告が出たら、速やかに行動に移さなければならなかったと思った。
- ・避難勧告が出たら、大丈夫と自己判断しないで避難しようと思った。
- ・サンドアートに引き込まれ、防災について考えようと思う気持ちが、いつもより強くなった。家族にも、特に息子達にもこの動画を見せようと思う。
- ・昭和13年の水害発生時、親が阪急御影駅周辺で商売をしていたので、話は子供の頃良く聞かせてもらっていたが、今回写真を全て見て水害の恐ろしさをあらためて知り、今後の避難勧告を真面目に受け取ろうと自覚した。
- ・日頃から備蓄・避難経路確認・家族内での避難場所確認等を行っている。 など

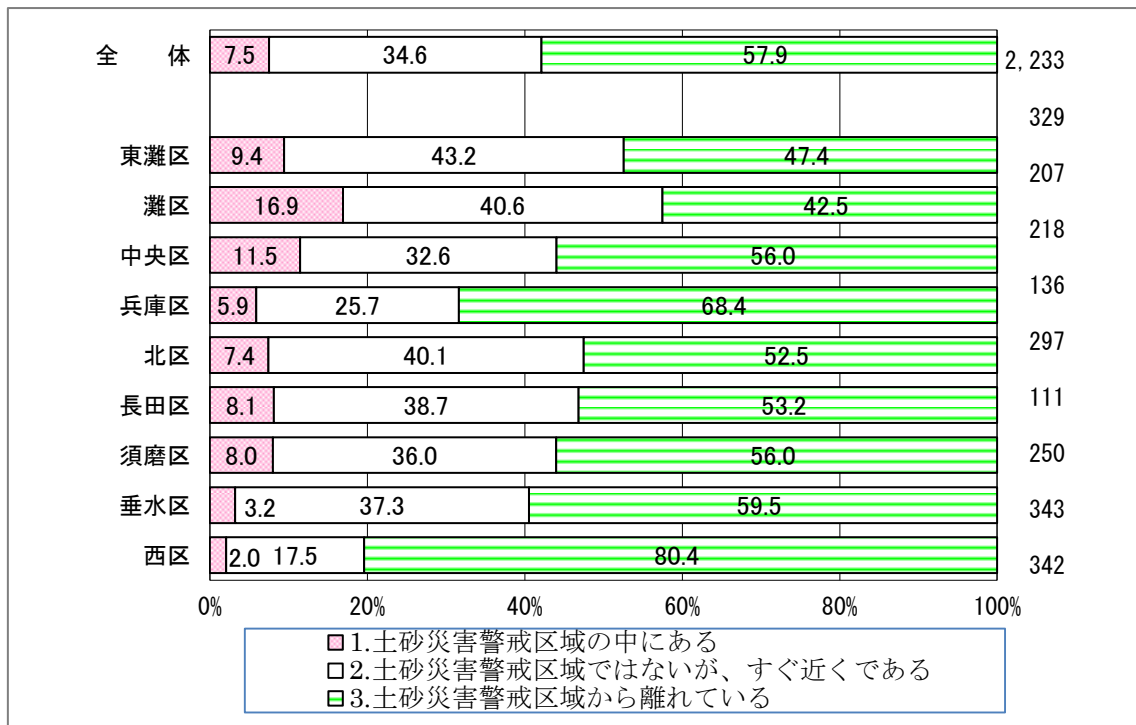
避難勧告！その時、どうする？（3分版）

<http://www.kobe-sonae.jp/news/2016/09/23182855.html>

問5

神戸市は、東西に連なる六甲山地に面し、六甲山地の周辺はいくつもの谷を含む急斜面となっており、その斜面に接し市街地が形成され、全区で約 2,200 箇所の「土砂災害警戒区域（イエローゾーン）※」が指定されています。

あなたのご自宅は、土砂災害警戒区域やその近くにありますか。知らない場合には、「神戸市 WEB 版ハザードマップ」で確認して回答してください。



※ 土砂災害警戒区域（イエローゾーン）とは
土砂災害の恐れがある区域。「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」に基づき兵庫県知事が指定。

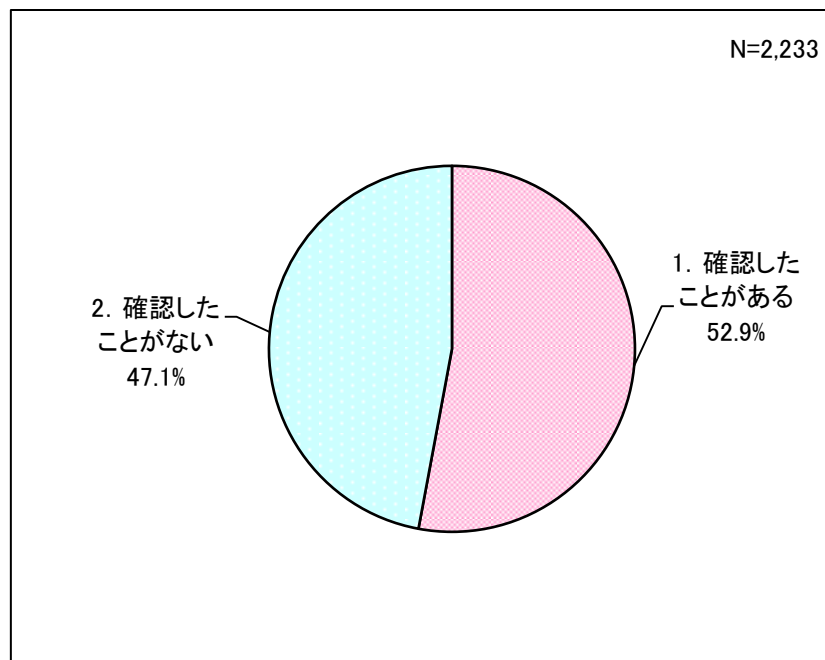
（神戸市 WEB 版ハザードマップ）

http://www.city.kobe.lg.jp/safety/prevention/map/hazardIntroduction/flow_01.html

操作の説明：大雨→土砂災害→同意する→地図上のイエローゾーンが土砂災害警戒区域です。

問6

避難先である緊急避難場所（小学校など）は、土砂災害や洪水、津波など、災害の種類によって指定しており、災害の種類によっては利用できない場合があります。お近くの緊急避難場所がどの災害の時に利用できるのか、確認したことはありますか。



(参考) 緊急避難場所の災害時の注意事項の確認方法

<http://www.city.kobe.lg.jp/safety/prevention/evacuation/>

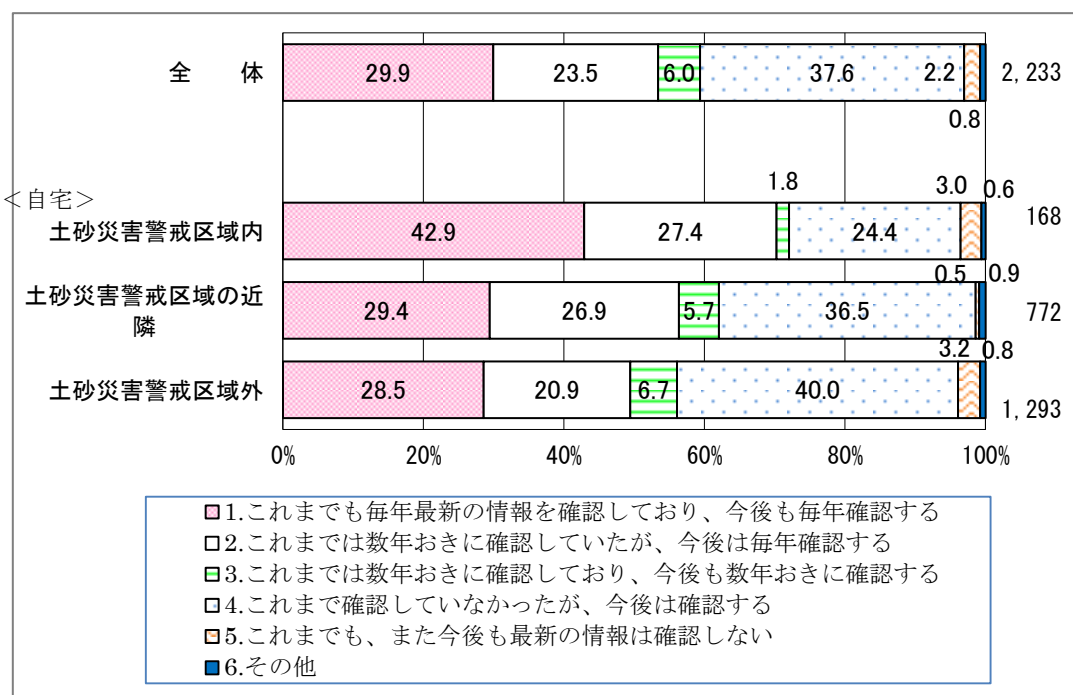
これまで、神戸市内で「土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）※」は指定されていませんでしたが、今年の3月に北区で初めて指定される見込みで、平成31年度を目途に全市的に指定を進めていく予定です。またこれに併せて、土砂災害警戒区域の見直し・解除・新規指定も行っていきます。

※土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）

土砂災害が発生した場合に建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に、著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域のことで土砂災害警戒区域から指定。「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」に基づき兵庫県知事が区域を指定。

問7

これまでハザードマップ等で毎年最新の土砂災害警戒区域を確認していましたか。また今後は最新の情報を継続的に確認しようと思いませんか。

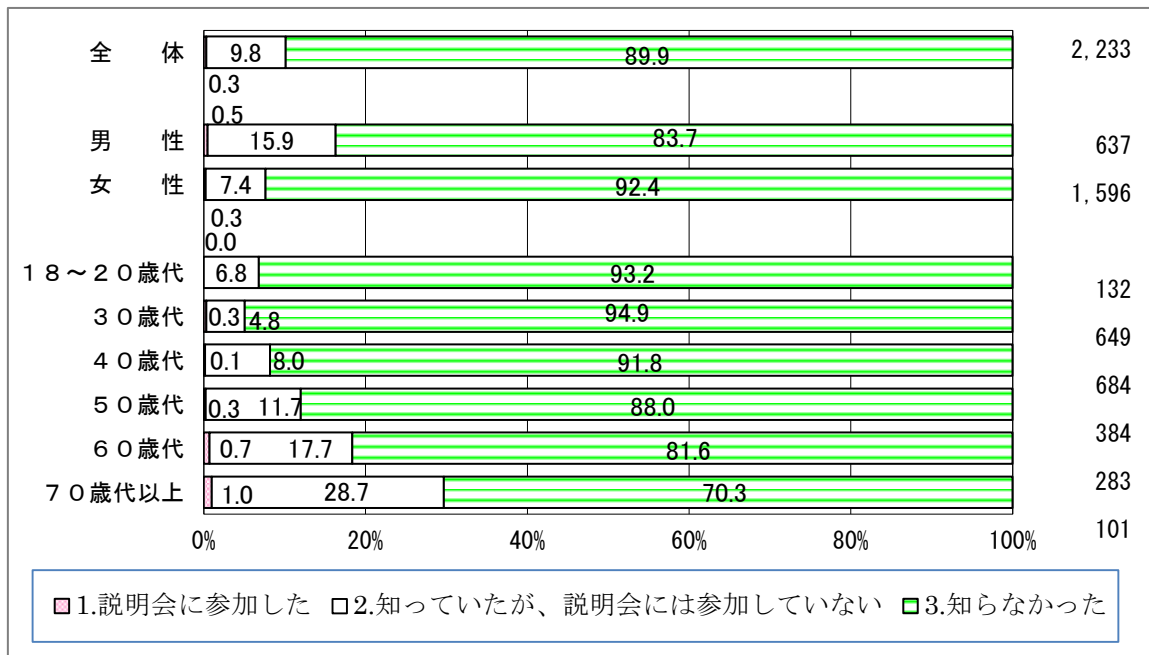


「6. その他」

- ・ 台風の時等に確認することが多かったが、子供もいるので事前に情報を確認しておこうと思う。
- ・ 台風等で大雨が予想される時に確認しており、今後もそのつもりである。
- ・ 思い出したら確認する。
- ・ これまで確認しておらず、今後は確認したいとは考えるが、継続的に確認することは難しい。 など

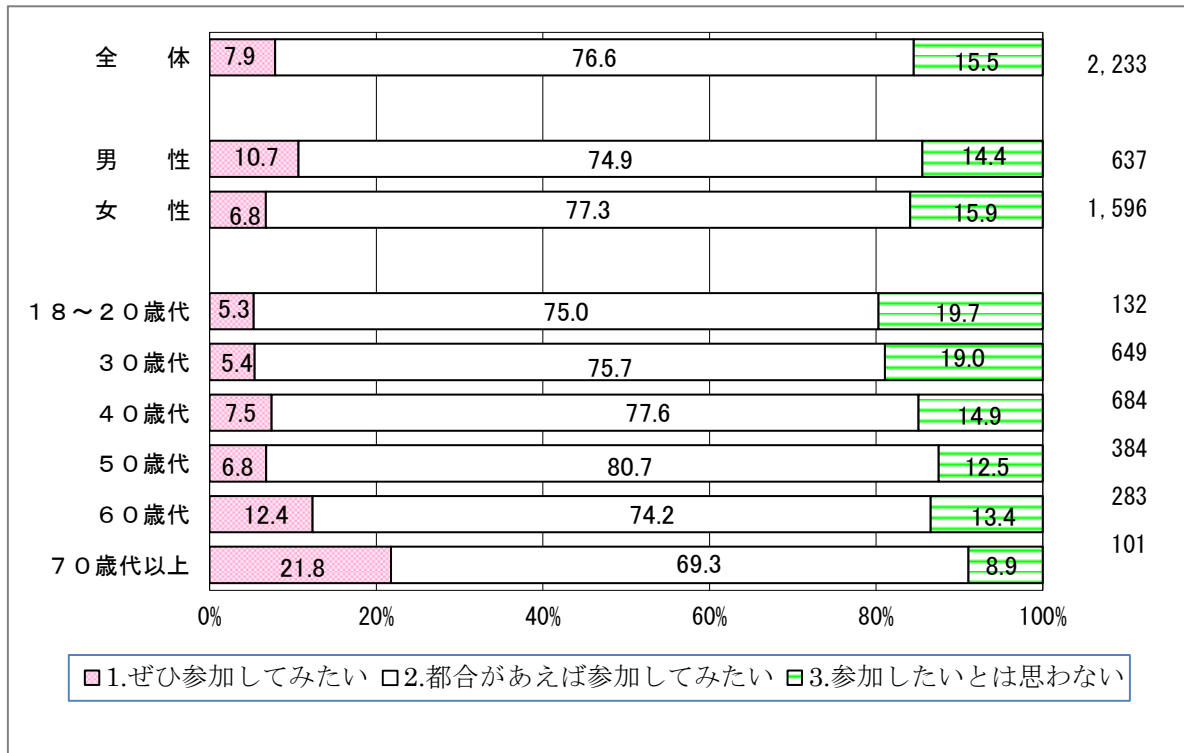
問 8

神戸市では、平成 28 年夏～秋に「土砂災害 わが家の避難マップ」を用いた土砂災害からの避難に関する説明会を実施しました。説明会を実施していたことを知っていますか。



問 9

今後も、問 8 のようにお住まいの地域での土砂災害からの避難方法について、詳しく説明を聞ける場があれば、参加してみたいと思いますか。

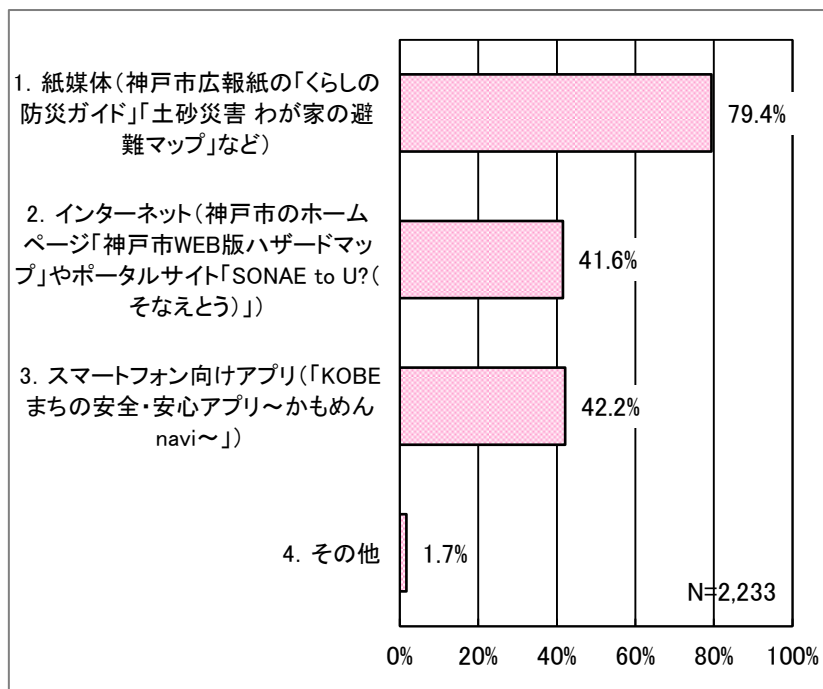


防災情報の入手方法について

問10

行政が提供するハザードマップについて伺います。

神戸市では、様々な媒体を活用しハザードマップの提供をしていますが、どのような媒体での情報提供が望ましいですか。（複数回答可）



「4. その他」

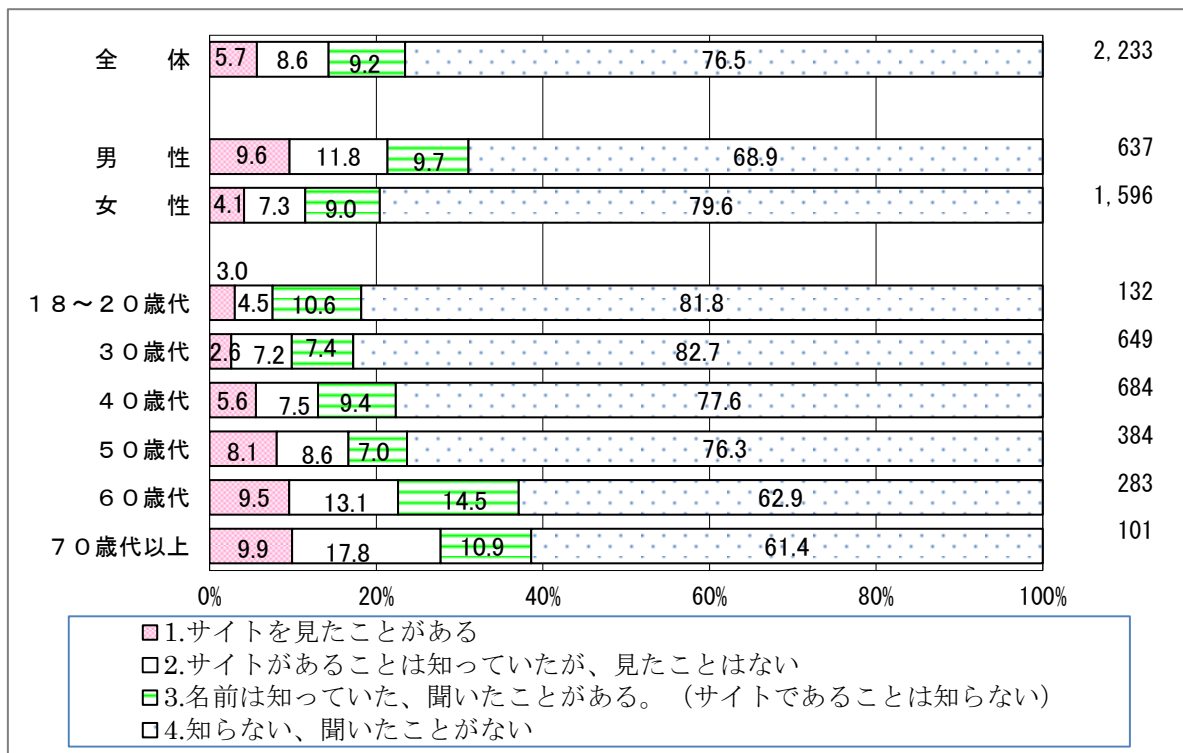
- ・ウェブサイトがスマートフォン向け表示されるのがよい。
- ・紙媒体とインターネットを併用するなど、媒体によって利用者の属性が異なるため、多様なものを活用すべき。
- ・ごみ集積場等の恒久的に掲示できる場所に表示するなど、災害時にアナログで確認できる環境も大切。
- ・公共交通機関での掲示、テレビCM、データ放送の画面、地域の回覧板、メール配信、カーナビ、デジタルサイネージ、学校園からの手紙として配布する。 など

KOBE 防災ポータルサイト「SONAE to U ?」を参照しながらお答え下さい。
 (http://www.kobe-sonae.jp/)



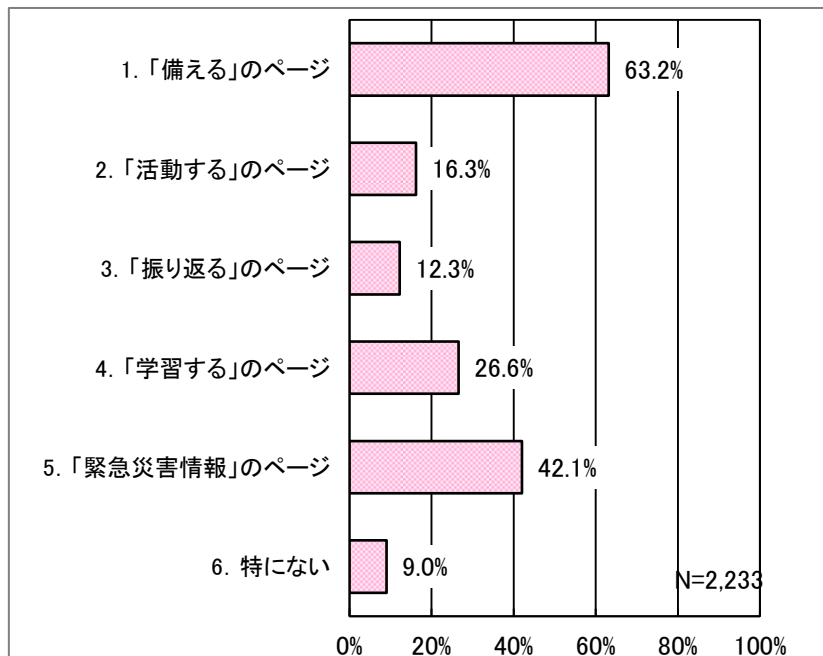
問 1 1

平成 2 7 年 1 2 月に開設した KOBE 防災ポータルサイト「SONAE to U ? (そなえとう)」
 を知っていますか。



問 1 2

KOBE 防災ポータルサイト「SONAE to U? (そなえとう)」は、日頃からの備えに役立つ情報や子ども向けの防災クイズなどを通じて、防災について気軽に楽しく学んでいただくためのサイトです。サイトを見て、どのコンテンツに関心を持たれましたか。(複数回答可)



問 1 3

KOBE 防災ポータルサイト「SONAE to U? (そなえとう)」について、見やすさ、分かりやすさなどその他お気づきの点があればご入力ください。(自由記述)

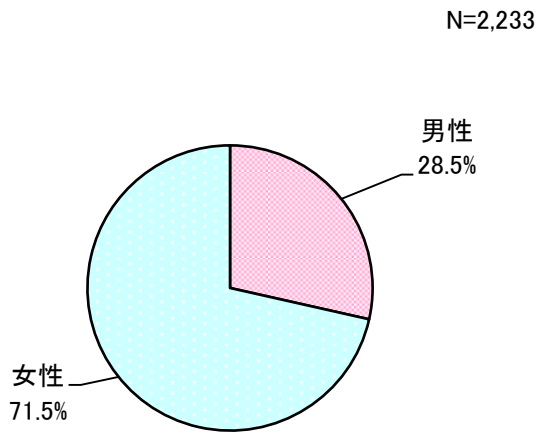
- ・非常にわかりやすく整理されており、災害に備える神戸市の取り組みがよくわかる。私自身がサイトのことを知らなかったこともあり、こんなにすばらしいサイトをもっと市民に知ってもらいたい。
- ・誰でも興味を持って見ることができると思った。子供たちも解りやすいと思う。
- ・どのジャンルのことだったかな?と思うことがワンストップにまとまっているので、わかりやすい。
- ・タイトルのネーミングがよかった。神戸弁で、何だろう?と気になって見てみようと思った。
- ・写真やイラストが多いので、見やすい。
- ・公共交通機関の運行情報が見られるので、普段から気軽にアクセスすると思う。
- ・見やすく使いやすいサイトなので、もっと宣伝すべき。
- ・文字やイラストだけでなく動画も取り入れれば、より分かりやすくなると思う。
- ・Facebook ページも作ってほしい。
- ・こういった内容を冊子にして各戸に配布して貰えればいざというときに役立つと思う。
- ・情報量も多く、分かりやすくまとまっていると思うが、情報量が多いため自分の知り

たいことの探しにくさが少しあるように感じた。

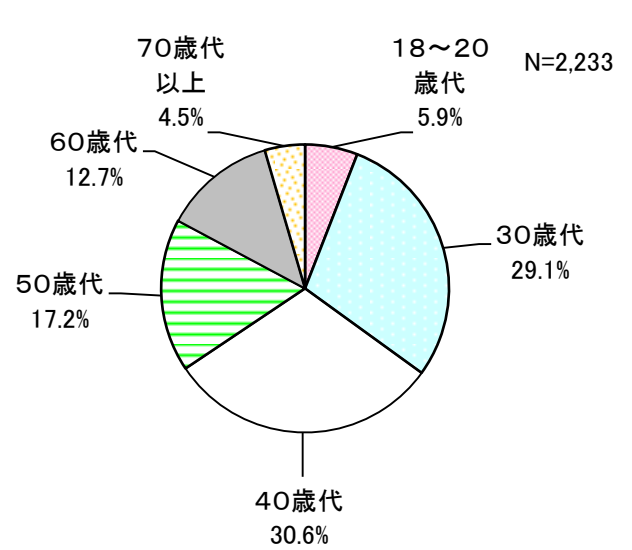
- 正しい内容だと思うが、ボリュームがありすぎて読みきれない人がいるのではないか。情報を厳選し、一人暮らし向け・高齢者向け・学生向けなどの入り口で簡潔に伝えるのもひとつの策だと思う。
- 活動を見てこんな事をやっているのだと分かったけれど、同じような活動に参加したいので、今後のイベントなど開催日、開催場所がわかる情報があるとよいと思った。

全 337 件のご意見をいただきました。ありがとうございました。

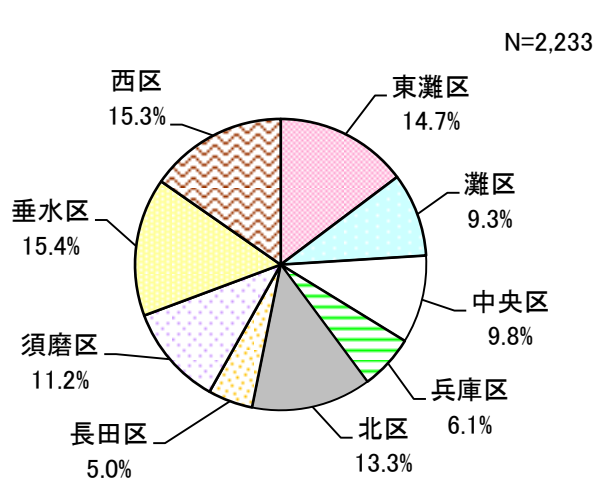
【性別】



【年代】



【居住区】



【職業】

